

# 平成 17 年度政府予算案

（文部科学省科学技術・学術関係）

平成 16 年 12 月 24 日  
文 部 科 学 省

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
<b>科 学 技 術 創 造 立 国 の 実 現</b>				
各事項には、独立行政法人等運営費交付金中の推計額が含まれる。				
<b>1 . 研 究 開 発 の 戦 略 的 か つ 重 点 的 推 進</b>				
(1) 独創的・先端的基礎研究 の推進  大学・大学共同利用機 関等における独創的・先 端的基礎研究の推進	90,400	92,883	2,483	
<p>概要：ニュートリノ研究等のビッグプロジェクトや重点4分野の推進に資する研究等、大学・大学共同利用機関等で実施する独創的・先端的基礎研究を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スーパーカミオカンデ」によるニュートリノ研究の推進</li> <li>・大強度陽子加速器計画の推進（高エネルギー加速器研究機構）</li> <li>・「Bファクトリー」による素粒子物理学研究の推進</li> <li>・アルマ計画の推進</li> <li>・「大型光学赤外線望遠鏡『すばる』」による天文学研究の推進</li> <li>・「大型ヘリカル装置（LHD）」による核融合科学研究の推進</li> <li>・総合地球環境学プロジェクトの推進</li> </ul>				
(2) 重点4分野の研究開発 の更なる推進  ライフサイエンス	81,416	82,912	1,496	
<p>概要：ヒトゲノム解読の成果等を踏まえ、我が国の強みを活かしつつ世界に先駆けた研究分野に重点的に取り組むとともに、基礎的・先端的な研究を積極的に推進する。さらに、社会のニーズを踏まえたライフサイエンス研究開発を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新興・再興感染症に関する基礎的な知見の集積や、生体内の様子を生きたまま観察することを可能とする分子イメージング研究からなる「社会のニーズを踏まえたライフサイエンス分野の研究開発」（3,450百万円（新規））</li> <li>・ゲノムネットワーク研究、テーラーメイド医療や再生医療の実現に向けた研究、タンパク質の構造・機能解析等の研究開発</li> <li>・大学等の先導的研究拠点と理化学研究所や科学技術振興機構等との連携によるゲノム科学研究や発生・再生科学研究、脳科学研究等</li> </ul>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
情報通信	42,048	42,785	737	
<p>概要：情報通信分野における国際競争力を強化し、経済活性化を図るため、次世代のIT基盤技術等の研究開発や、研究開発の情報化等を一層推進するとともに、IT利用者の視点に立った技術等の研究開発を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来のスーパーコンピューティングのための要素技術やユビキタス社会の基盤技術の研究開発など、情報のライフライン化が進んだ社会の基盤構築のため「いつでも、どこでも」「安心、安全」かつ「快適」に最先端の情報科学技術の利活用を実現する「次世代IT基盤構築のための研究開発」（2,974百万円（新規））</li> <li>・社会の情報化の進む中で教育、文化・芸術分野における知的資産の電子的な保存・活用等に必要不可欠なソフトウェア技術の研究開発を行う「知的資産の電子的な保存・活用を支援するソフトウェア技術基盤の構築」（470百万円）</li> <li>・分散したコンピュータを高速ネットワークで結び、世界水準の高速コンピュータ環境を構築する「超高速コンピュータ網形成プロジェクト(ナショナル・リサーチリット・イニシアティブ)」(1,950百万円)等</li> </ul>				
環境	67,293	70,228	2,935	
<p>概要：地球観測サミットの開催やG8IT'ア'サミットにおける「持続可能な開発のための科学技術」行動計画等を背景として、地球環境問題への科学技術での取組の重要性の高まりを踏まえ、大学や研究機関において、観測・予測研究と、環境対策技術の研究開発を重点的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全球規模観測研究の推進： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 地球観測サミットで謳われた地球観測システムの構築に向けて、我が国が先導的に取り組むべき研究領域について公募により技術開発・観測研究等を行う「地球観測システム構築推進プラン」（1,017百万円（新規））</li> <li>- 海洋観測や衛星による地球観測の強化を通じた地球観測システムの高度化の推進（49,647百万円）</li> </ul> </li> <li>・地球変動予測研究の推進：地球シミュレータを用いた変動予測研究等（13,899百万円）</li> <li>・環境対策技術の研究開発の推進：一般・産業廃棄物やH<sub>2</sub>の再資源化システム、水素利用技術等の研究開発（5,665百万円）</li> </ul>				
ナノテクノロジー・材料	26,628	28,365	1,737	
<p>概要：科学技術・産業の発展を支えるナノテクノロジー・材料分野について、大学・独立行政法人等における独創的・先端的研究から、実用化を目指した革新的な研究開発までを戦略的に推進する。また、ナノテクノロジーに携わる研究者等に対して機関・分野を越えた横断的かつ総合的な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナノテクノロジー・材料の研究開発の急速な進展に伴い、他分野との新たな先端融合領域において優れた研究成果を生み出す可能性が増大していることを踏まえ、他の重点4分野や光・光量子科学技術などの先端融合領域における、「ナノテクノロジー・材料を中心とした融合新興分野研究開発」を推進(1,450百万円（新規）)</li> <li>・大学、独立行政法人等における独創的・先端的研究を推進。物質・材料研究機構では、難治性疾患の安全な治療を可能とするための材料技術を開発する「革新的ナノ薬物送達システム（DDS）のための担体材料開発」等の推進とともに、優れた研究成果を社会に還元</li> <li>・ナノテクノロジー総合支援プロジェクトを着実に実施(2,399百万円)</li> </ul>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
(3) 国の存立の基盤となる分野 の着実な推進	百万円	百万円	百万円	
核燃料サイクル技術、 原子力科学技術	287,117	286,799	318	
<p>概要：原子力二法人統合を見据え、事業の徹底的な見直し・合理化を図った上で、エネルギーの安定供給、地球環境保全等に資する原子力分野の研究開発を、国民の理解を得つつ、安全確保を大前提に着実に推進する。</p> <p>核燃料サイクル研究開発の推進：高速増殖原型炉「もんじゅ」、高速実験炉「常陽」等  ( 99,634百万円 )</p> <p>先端的な原子力科学研究の推進：「国際熱核融合実験炉（ITER）計画」 ( 2,591百万円 )  「大強度陽子加速器計画（J-PARC）」 ( 24,682百万円 )</p> <p>放射線利用に関する研究開発の推進：重粒子線がん治療の普及の促進等医療、工業、農業等の  幅広い分野に貢献する放射線利用技術の研究開発 ( 14,576百万円 )</p> <p>原子力の安全確保・防災対策及び保障措置の着実な実施 ( 36,955百万円 )</p> <p>原子力に対する理解増進と立地地域との共生 ( 19,385百万円 )</p>				
宇宙・航空	180,192	176,704	3,488	
<p>概要：宇宙航空研究開発機構（JAXA）において、H-Aロケットの打上げ失敗などのトラブルを教訓として、信頼性の確立を最優先に、我が国の宇宙及び航空技術の発展に向けて戦略的かつ重点的に研究開発に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケット・衛星の宇宙開発基盤を強化する信頼性向上プログラムの推進（10,371百万円）</li> <li>・地球観測サミット10年実施計画に定める衛星観測システムの構築（11,845百万円）</li> <li>・産業界と連携したプロジェクト（準天頂衛星システム計画、GXロケット、国産小型旅客機等の開発）の着実な推進（9,401百万円）</li> <li>・国際的イニシアティブにより推進されている国際宇宙ステーション計画の推進（36,169百万円）</li> <li>・知的資産の拡大に貢献する宇宙科学研究の推進（21,486百万円）</li> </ul>				
南極観測・海洋地球科学 技術	42,977	44,657	1,680	
<p>南極地域観測事業  概要：南極条約に基づいた南極地域での研究・観測や国際共同観測を継続実施するために、平成20年度以降の南極地域（昭和基地）への輸送手段を確保する。</p> <p>南極地域観測事業の推進（2,490百万円）  南極観測船「しらせ」後継船の建造（3,455百万円）  ヘリコプター後継機（1号機）の製造（539百万円）</p> <p>海洋地球科学技術  概要：人類未到のマントルへの到達能力を有する地球深部探査船「ちきゅう」を建造し、統合国際深海掘削計画（IODP）における国際運用に供することにより、地球環境変動、地球内部構造、地殻内生命圏等の解明を目的とした深海地球ドリリング計画等を推進するとともに、大陸棚画定調査に資する研究開発を実施する。</p> <p>深海地球ドリリング計画の推進：国際運航開始（平成19年9月を予定）に向けた慣熟訓練（BOP設置訓練、運航訓練等）を実施（10,632百万円）  大陸棚画定調査への協力：海洋研究開発機構の船舶を活用し、地殻構造調査の実施（2,537百万円）等</p>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
地震・防災	18,072	16,567	1,505	
<p>概要：安全・安心で自然災害に強い社会の構築を目指すため、地震・火山噴火等の調査観測、災害発生の予測、災害発生時の被害の軽減など防災対策に関する研究開発を推進するとともにこれらの防災研究成果等を地域の防災活動へ反映させる事業を一体的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府の地震調査研究推進本部の方針に基づく基盤的調査観測や重点的調査観測及び全国を概観した「地震動予測地図」の高度化（1,651百万円）</li> <li>・実大三次元震動破壊実験施設を活用した構造物の耐震性に関する国内外共同モデル研究（263百万円）（新規）</li> <li>・アジア・太平洋地域における国際地震・火山観測に関する調査研究（85百万円）（新規）</li> <li>・社会的要請が特に強い地震防災総合研究開発の重点的推進（3,687百万円）</li> </ul>				
(4) 融合新興分野における最先端技術の研究開発の推進	6,267	12,109	5,842	〔再掲〕
<p>光・光量子科学技術、情報科学技術とナノテクノロジーとの融合分野等</p> <p>概要：分野横断的な性格を有するナノテクノロジーの研究開発の目覚ましい進展により、ナノテクノロジーを中心とした融合領域において幅広い先端的研究開発が期待される他、ライフサイエンスと化学、工学等との融合領域においても優れた研究成果を生み出す可能性が増大しており、光・光量子科学技術の推進など融合新興分野における研究開発の取組みを強化する。</p> <p>ナノテクノロジー・材料研究開発の推進（3,399百万円）  光・光量子科学技術の推進（2,677百万円）  情報科学技術とナノテクノロジーの融合分野の推進（4,572百万円）  分子イメージング研究の推進（1,462百万円）</p>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
(5) 安全・安心な社会の構築 に資する科学技術の強化	18,195	27,235	9,040	(一部再掲)
<p>概要：科学技術の高度化、複雑化による社会システムの弱点や盲点の増加に加え、ここ数年の感染症や犯罪・テロ、大規模災害等といった新たな脅威の出現による国民の不安の高まりに対応するため、これらの脅威に対する対策技術や共通的な基盤技術の研究開発等を実施し、安全・安心な社会の構築に資する科学技術を強化する。</p> <p>共通的な基盤技術の研究開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・研究機関の革新的な技術シーズと安全・安心に係る公的機関・事業者等のニーズを結びつけるための体制の整備や、多様で未知な危険に対応するため安全・安心に係る知のネットワークの構築（200百万円）</li> <li>・有害物質、危険物質等の検知技術開発として、「安全・安心な社会のためのセンサー技術の研究開発」の推進（71百万円）（新規）</li> </ul> <p>個々の脅威に対する対策技術の研究開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新興・再興感染症研究拠点形成プログラムの推進（2,300百万円）（新規）</li> <li>・実大三次元震動破壊実験施設を活用した構造物の耐震性に関する国内外共同モデル研究（263百万円）（新規）</li> <li>・国家的、社会的に重要な政策課題であり、政府として速やかに取り組むべき政策目標及び課題について、産学官の複数の研究機関による総合的な体制により研究開発を実施する、「重要課題解決型研究等の推進」の推進（8,500百万円*（科学技術振興調整費）の内数） *プログラム充当見込額</li> </ul>				
(6) 経済活性化のための研究 開発プロジェクトの推進	32,749	46,357	13,608	(再掲)
<p>概要：我が国の経済を活性化するため、大学等での研究開発の成果や産学官の技術力の活用等により、実用化を視野に入れた研究開発プロジェクトを戦略的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイエンス分野 8プロジェクト（13,637百万円）</li> <li>・情報通信分野 6プロジェクト（10,045百万円）</li> <li>・環境分野 1プロジェクト（475百万円）</li> <li>・ナノテクノロジー・材料分野 10プロジェクト（6,004百万円）</li> <li>・その他の分野 6プロジェクト（16,195百万円）</li> </ul>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
<b>2 . 研 究 開 発 シ ス テ ム の 改 革</b>				
(1) 競争的資金の改革及び 抜本的拡充	282,453	360,865	78,412	〔一部再掲〕
<p>概要：競争的な研究環境の形成に貢献し、その効果を最大限に発揮させるために競争的資金の制度改革を行うとともに、第2期科学技術基本計画の目標に向けて、重点的に拡充する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費補助金 188,000百万円</li> <li>・ 戦略的創造研究推進事業 47,595百万円</li> <li>・ 科学技術振興調整費 39,500百万円</li> <li>・ 21世紀COEプログラム 38,171百万円</li> <li>・ キーテクノロジー研究開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 社会のニーズを踏まえたライフサイエンス分野の研究開発 3,450百万円 (新規)</li> <li>- 次世代IT基盤構築のための研究開発 2,974百万円 (新規)</li> <li>- ナノテクノロジー・材料を中心とした融合新興分野研究開発 1,450百万円 (新規)</li> </ul> </li> <li>・ 地球観測システム構築推進プラン 1,017百万円 (新規)</li> <li>・ 原子力システム研究開発委託費 12,145百万円 (新規)</li> <li>・ 先端計測分析技術・機器開発 4,000百万円</li> <li>・ 独創的革新技術開発研究提案公募制度 / 革新技術開発研究事業 3,208百万円</li> <li>・ 独創的シーズ展開事業 9,674百万円 (新規)</li> <li>・ 重点地域研究開発推進事業 4,980百万円</li> <li>・ 地域結集型共同研究事業 4,675百万円 (新規) 等</li> </ul>				
(2) 知的財産戦略の強化及び 産学官連携の推進				
知的財産本部の充実強化・特許化支援、大学発ベンチャー創出推進等	33,098	33,699	601	〔一部再掲〕
<p>概要：知的財産の創出と活用及び大学等の研究成果を基にした独創的な新技術の開発やベンチャー企業の創出推進を図るとともに、それを支える人材の育成・確保を図るための施策を一体的に推進する。</p> <p><u>知的財産戦略の強化 (6,118百万円)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学等における知的財産の創造・保護・活用を総合的に支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 大学知的財産本部の充実・強化と、大学の研究リソースを結集し、組織的に産学官連携を推進するためのスーパー産学官連携本部の整備</li> <li>- 大学等において生み出された研究成果の特許化の促進</li> <li>- 知的財産分野の専門人材、目利き人材の養成 等</li> </ul> </li> </ul> <p><u>産学官連携の推進 (27,581百万円)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学等の独創的な研究成果(シーズ)について、実用化に向けた展開を図るための研究開発を「独創的シーズ展開事業(新規)」として総合的に支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 大学発ベンチャーの創出及び事業展開に必要な研究開発を推進</li> <li>- 大学等の研究成果の企業化に向けた研究開発を推進</li> </ul> </li> <li>・ 産学官連携による共同研究を一層促進するためのマッチングファンドの実施 (科学技術振興調整費)</li> <li>・ 産学官連携に関する各種専門知識を有する人材の大学等のニーズに対応した配置を推進 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">* 充当見込額を含む</p>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
(3) 地域科学技術の振興				
知的クラスター創成事業等	21,598	24,017	2,419	
<p>概要：地域の大学等の公共研究機関を核に、産業ニーズ等を踏まえた新技術シーズを生み出すための産学官共同研究等を実施し、新技術・新産業の創出を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的クラスター創成事業（10,000百万円） 国際的競争力のある技術革新のための集積の創成を目標</li> <li>・都市エリア産学官連携促進事業（3,600百万円） 個性ある地域産業の育成・発展を目標</li> <li>・研究成果活用プラザ等（9,655百万円） 研究成果活用プラザを拠点として、大学等の研究成果活用のため、地域における新産業の創出に資するコーディネート活動、事業化に向けた共同研究、ベンチャー創出支援活動等を展開</li> </ul>				
(4) 先端計測分析技術・機器開発や大型研究施設の活用の推進等による研究基盤の強化	42,412	43,334	922	〔一部再掲〕
<p>概要：科学技術創造立国実現の基盤となる先端計測分析技術・機器等について、我が国の産・学・官の能力を結集した開発及びその利用を進めるとともに、世界最先端の大型研究施設の戦略的な活用等を促進する。また、大型放射光施設の共用促進や研究開発の情報化など先端研究基盤の整備等を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端計測分析技術・機器開発プロジェクトの推進（10,093百万円） 独創的な研究活動を支える世界初のオリオン/ソバールの計測分析技術・機器の開発を推進する。 - 要素技術開発から実用化（製品化）まで一貫して開発を支援 - 自由な発想に基づく課題公募型と特定目標を実現するための課題設定型の並存 - 先端計測分析技術・機器開発小委員会によるプロジェクト全体の効果的・効率的な推進</li> <li>・先端大型研究施設戦略活用プログラム（1,300百万円（新規）） - 世界最先端の大型研究施設について、利用者の支援体制の充実等により、新規利用者の拡大を図るとともに、独創的・創造的な研究開発を推進</li> <li>・本格的利用期に適した大型放射光施設（SPring-8）の運営体制の構築（10,782百万円） - SPring-8の運転・維持管理、放射光による施設の経年劣化対策 - 日本原子力研究所・理化学研究所による放射光を利用した研究開発の推進 - SPring-8の一層の利用拡大と支援体制の充実 等</li> <li>・研究開発に関する情報化の推進（7,450百万円） 科学技術情報発信・流通総合システムなど、情報通信技術の急速な進展に対応して、研究情報基盤の整備を一層推進するとともに、これらの基盤の一層の活用を図り、研究開発情報の収集、発信を通じて、我が国の研究開発の高度化・効率化を図る。</li> </ul>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
<b>3 . 科学技術創造立国を支える基盤の充実</b>				
(1) 科学技術創造立国を支える 多様な人材の養成・確保	143,133	158,817	15,684	〔一部再掲〕
新しい「知」の創造に 向けた人材の養成	117,916	130,265	12,349	
<p>概要：優れた研究者養成を目指した研究教育拠点等への支援充実や若手研究者の海外における研鑽機会等の充実など世界をリードする質の高い研究者の養成や、優秀な人材が経済的負担の心配なく大学院博士課程へ進学できるようにする特別研究員事業の充実や競争的資金の拡充などを通じ多様な研究者が活躍できる環境整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21世紀COEプログラム（38,171百万円）</li> <li>・ 海外特別研究員事業（1,690百万円）</li> <li>・ 特別研究員事業（博士課程在学者対象分）（8,255百万円）</li> <li>・ 「魅力ある大学院教育」イニシアチブ（3,000百万円）（新規）</li> <li>・ 科学研究費補助金「若手研究」等（26,670百万円）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>				
「知」の活用や社会還元 に向けた人材の養成	10,393	11,543	1,150	
<p>概要：産業界における実践的な環境下での科学技術関係人材の育成及び専門職大学院での質の高い実践的教育の支援など創造性豊かな技術者や産学官連携等を推進する人材の養成や、研究者のアウトリーチ活動への支援など対話型科学技術社会を構築していく人材の養成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究者情報発信活動推進モデル事業（200百万円）（新規）</li> <li>・ 産学連携による高度人材育成（130百万円）（新規）</li> <li>・ 技術者の継続的能力開発・再教育のための情報提供（105百万円）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>				
「知」を創造し活用する 人材の基盤づくり	14,825	17,008	2,183	
<p>概要：将来の国際的な科学技術系人材育成の視点を重視したスーパーサイエンスハイスクール支援の一層の充実や理数大好きモデル地域事業の実施など初等中等教育段階からの科学技術を支える人材養成等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパーサイエンスハイスクール（1,348百万円）</li> <li>・ 大学、学協会、研究機関等と教育現場の連携（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）（1,270百万円）</li> <li>・ 理数大好きモデル地域事業（318百万円）（新規）</li> <li>・ 国際科学技術コンテスト支援（150百万円）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
(2) 科学技術・学術の国際展開 の戦略的推進	23,840	28,911	5,071	(一部再掲)
概要：科学技術・学術審議会国際化推進委員会中間報告「科学技術・学術の国際展開の戦略的推進 について」(平成16年8月)を踏まえ、以下の施策からなる「科学技術国際戦略総合プラン」 を推進する。				
国際展開基盤強化 プログラム(大学戦略)	11,256	15,957	4,701	(一部再掲)
概要：研究教育人材の養成・確保、国際的な情報収集・発信等、科学技術・学術活動の中心的存在で ある大学における国際展開の戦略的な推進の基盤となる以下の取組みを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学における特色ある組織的な国際展開に向けた取組みの促進(1,062百万円) 大学国際戦略本部強化(新規)等</li> <li>・国際的な研究協力網の形成促進(213百万円)</li> <li>・海外拠点を核とした交流事業の総合的展開(251百万円)</li> <li>・研究成果の国際的情報発信力の強化(1,930百万円)等</li> </ul>				
アジア・パートナーシップ強化 プログラム(地域戦略)	1,575	1,654	79	(一部再掲)
概要：アジア諸国との長期的観点に立った密接な協力を推進すべく、地域共通課題への対応、アジア発 の独創的研究の世界への発信、人的ネットワーク構築の各視点から、以下の取組みを推進する。 また、科学技術分野における日中韓大臣級会合が予定されていることにも鑑み、日中韓のパート ナーシップを特に強化する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・パートナーシップ強化(1,654百万円*) アジア・コア・ネットワーク等</li> </ul> * 充当見込額を含む				
国際的研究人材確保・養成 プログラム(人材戦略)	9,899	10,111	212	
概要：我が国と諸外国の若手研究者の「知の出会い」の場を創出し、恒常的な「ネットワーク」を構築 することを通じて、我が国の若手研究者の触発、新たな国際共同研究の芽の創出、将来的な外国 人研究者の来日の促進を図り、我が国の研究環境の活性化、国際的研究人材の確保・養成を推進 する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな「知の出会い」の場の創出、「ネットワーク」構築(451百万円) 国際サマースクール(新規)等</li> <li>・優れた外国人研究者の受入促進(7,890百万円) 外国人特別研究員事業等</li> <li>・若手研究者の海外派遣の促進(1,770百万円) 海外特別研究員事業等</li> </ul>				

事 項	前 年 度 予 算 額	平 成 17 年 度 予 定 額	比 較 増 減 額	備 考
国際展開の戦略的推進 プログラム(戦略構築)	1,110	1,190	80	(一部再掲)
<p>概要：絶えず進化する世界の科学技術・学術情勢を迅速に捉え、科学技術・学術における我が国の位置を明確に分析することにより、我が国の科学技術・学術国際展開戦略を構築し、実行する以下の取組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際戦略構築のための国内外研究開発動向の把握・分析体制の強化(760百万円)</li> <li>・戦略に基づく政府間合意プロジェクトの機動的推進(430百万円*)</li> </ul> <p style="text-align: right;">* 充当見込額を含む</p>				
(3) 国民が夢と感動を抱ける 機会の提供など科学技術 を通じた心の豊かさの実現	9,710	11,241	1,531	(一部再掲)
<p>概要：「科学技術と社会に関する世論調査(平成16年2月)」において、「今後の科学技術の発展は、物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさも実現するものであるべきである」と思う者の割合は8割に達している。このようなニーズに応え、学校をはじめとした地域活動への研究者・技術者の積極的参加など「双方向のコミュニケーションに向けた活動の推進」などに取組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、学協会、研究機関等と教育現場の連携 (サイエンス・パートナーシップ・プログラム)(1,270百万円)</li> <li>・研究者情報発信活動推進モデル事業(200百万円)(新規)</li> <li>・研究PRディレクターによる研究成果情報発信(25百万円)(新規) 等</li> </ul>				
<p>各事項の金額において、単位未満四捨五入をしているため、合計金額と一致しない場合がある。</p>				